

CSR活動の考え方

NTT西日本グループでは、「今一度、CSR活動について考える」をキーワードに、コンプライアンスを基本(前提)とした「NTT西日本グループCSR活動の3つの柱」を構築・実践し、CSR活動を推進しています。

「西日本スピリッツ」を原点に

「西日本スピリッツ」は、NTT西日本の創業時に、企業理念として策定し、NTT西日本グループとしての使命・社会的役割・目標、行動指針および行動規範を明示しているものであり、CSR活動をはじめとした会社の根幹となるものと考えています。

CSR活動の3つの柱を重視して

NTT西日本グループのCSRは、創業時に策定した企業理念「西日本スピリッツ」をベースに、活動の原点となる「コンプライアンスの徹底」を第一に、2つめには社会から期待される「安心・安全な社会づくり」、3つめには「事業を通じた価値創造」を3つの柱としてさまざまな活動を推進し、持続可能な社会の発展に貢献します。

NTTグループCSR憲章

CSRメッセージ

私たちNTTグループは、お客様の「バリューパートナー」として、最高のサービスと信頼を提供し、「コミュニケーション」を通じて、人と社会と地球がつながる安心・安全で豊かな社会の実現に貢献します。

CSRテーマ

人と社会のコミュニケーション

1 私たちは、社会の持続的発展のため、革新的ICTを開発・提供することでより豊かで便利なコミュニケーション環境を実現し、国内外のさまざまな社会的課題の解決に貢献します。

人と地球のコミュニケーション

2 私たちは、グループ事業全体にわたって環境負荷を低減し、ICTの活用による社会全体の環境負荷低減に取り組み、さまざまな地球規模での環境問題の解決に努めます。

安心・安全なコミュニケーション

3 私たちは、社会を支え生活を守る重要なインフラを提供する企業グループとして、社会的・倫理的な課題の克服に真摯に取り組み、情報セキュリティの確保や災害・サイバー攻撃にも強い安心・安全なコミュニケーション環境を提供します。

チームNTTのコミュニケーション

4 私たちは、「チームNTT」として、さまざまなパートナーの皆さまとともに高い倫理観と人権意識を持って事業に取り組み、ダイバーシティを尊重した働きやすい職場環境の整備や個の成長に努め、豊かな地域社会づくりに貢献します。

(2016年5月12日改定)

西日本スピリッツ

西日本スピリッツ

- 1. [主体] **私たちNTT西日本グループは**
- 2. [闘う武器] **技術と知恵で**
- 3. [闘うフィールド] **世界に広がる情報流通の**
- 4. [めざす状態・目標] **エクセレントカンパニーをめざします**

行動指針

- 【お客さま第一】 「姿勢」はお客さま第一
- 【個】 「原点」は「個」の自立
- 【知恵】 「使うべき」は知恵
- 【コミュニケーション】 「推進力」はコミュニケーション
- 【革新】 「成長」は日々革新
- 【プロフェッショナル】 「めざす」はプロフェッショナル

行動規範

- 【1】 **お客さまへ** 私たちは、お客さまのプライバシーを尊重して、お客さまの情報を責任を持って管理し、また、お客さまに対して、誠意を持って対応します。
- 【2】 **株主へ** 私たちは、株主の期待に応えられるように、信頼される会計手続きに基づき、経営状況を適時・適切に公開します。
- 【3】 **取引先へ** 私たちは、取引先の選定は価格・品質・サービス等を基準に行い、取引先と誠実に対応します。
- 【4】 **社員として** 私たちは、情報流通を業とする立場として、法律と会社のルールを遵守し、人権を尊重します。
- 【5】 **社会の中で** 私たちは、地域社会の一員として、常に環境問題に配慮して、社会への貢献に努めます。

CSR活動の3つの柱



- 企業倫理の保持
- 情報セキュリティの推進
- 消費者保護
- 人権尊重
- 通信サービスの徹底・維持
- 円滑な災害復旧
- 安全労働の推進
- 良質なサービスの提供
- ICT利活用社会の実現
- 環境保護
- 文化財保護
- 社会貢献
- ダイバーシティ

3つの柱に対応した取り組みとして、下図のとおりNTT西日本グループにおけるCSR活動「見える化」指標を策定し、その指標に基づき、社員一人ひとりがCSR活動に日々取り組んでいます。

また、社内ホームページへ取り組み実績などを掲載し、社員への「見える化」を図っています。

CSR活動「見える化」指標

活動の柱	テーマ	指標名	主な取り組み実績	
コンプライアンスの徹底	法令遵守と情報管理の徹底	他事業者さま情報の目的外利用の根絶	各種点検の実施など発生防止に向けた仕組みの推進や社員意識の醸成に取り組みましたが、「他事業者さま情報の目的外利用の根絶」、「広告物の不当表示の根絶」を除き、発生の根絶には至りませんでした	
		飲酒運転の根絶		
		広告物の不当表示の根絶		
		お客さま情報の漏えいなどの根絶		
		企業の信用失墜につながる行為などの根絶		
徹底に向けた取り組み	徹底に向けた取り組み	SO法会社テスト有効完了	内部統制に関わる監査を100%実施しました	
		全社員研修の実施	全社員を対象に、お客さま情報保護研修や情報セキュリティ研修などコンプライアンスの徹底に向けた研修を実施しました	
安心・安全な社会づくり	お客さま・地域社会への安心・安全	ウィズ カスタマー活動による改善	お客さまの声をもとに各種改善に取り組みしました(P16「お客さまの声をもとに改善を行った事例」を参照)	
		KAIZEN活動の取り組み	約7万件の改善提案など積極的なKAIZEN活動に取り組み、優良事例を水平展開しました	
		高品質で安定した通信サービスの確保	24時間、365日、サービスの継続に向け、万全の仕組みや体制の構築、サービス品質向上に取り組みました	
		設備110番の取り組み状況	事故の未然防止に向けて、不安全設備の早期発見・解消に取り組みしました	
		地域に密着した災害復旧の取り組み状況	南海トラフ巨大地震を想定した初動措置訓練など、自衛隊との連携による被災地の通信確保などを想定した各種訓練を実施し、災害への備えに取り組みしました	
	社員への安心・安全	社員への安心・安全	労働災害の根絶	労働災害根絶に向け、作業環境の改善、安全講習会など各種安全対策を積極的に実施し、安全意識の醸成、基本動作の徹底に取り組みしました
			ハラスメントの根絶に向けた取り組み	ハラスメントのない企業風土の確立に向け、全社員研修などを通じて意識の醸成に取り組みしました

活動の柱	テーマ	指標名	主な取り組み実績	
事業を通じた価値創造	環境経営の推進	通信機器のリユース・リサイクル	お客さまが利用された通信機器を回収・再生し、廃棄物の削減に取り組みしました	
		電力使用量の抑制	設備の統廃合、通信機械室の室温適正化、空調の高効率化、エコオフィスの推進などにより電力使用量の抑制に取り組みしました(購入電力量19.1億kWh)	
		事務用紙使用量の削減	ペーパーレス会議の推進、両面・集約印刷の徹底、複合機の適正配置などにより紙使用量の削減に取り組みしました	
		業務用車両における環境負荷低減	低公害車導入の推進、エコドライブの推進、ビル単位での業務用車両の共有化により、化石燃料消費の削減に取り組みしました	
		NTT西日本グループのサービス提供を通じた社会への環境負荷低減	フレッツ光サービスの販売拡大ならびに、ビジネスイーサワイドの環境負荷低減効果の算定を行いました	
		廃棄物最終処分量の抑制	通信設備のリユース・リサイクルの徹底、建築工事現場代理人の環境教育による工事で発生した廃棄物の分別の促進、オフィス内におけるリユース・リサイクルの推進、および環境に配慮した優良な処分業者への委託の推進を行いました	
	地域との共生	みどりいっぱいプロジェクトの推進	みどりいっぱいプロジェクトの推進	自治体・NPOなど地域主体と連携した生物多様性保全活動の推進、全30府県、11,000人以上の活動となりました
			生物多様性に配慮した事務用紙の利用促進	商品名に「生物多様性配慮」[FSC認証]が記載されている商品の購入を促進しました
			地域イベント・ボランティア活動などへの参加	清掃活動など地域イベント・ボランティア活動などへ積極的に参加しました(活動参加率100%)
		ICT利活用社会への貢献	障がい者雇用の推進	積極的な雇用促進、離職防止施策の充実に取り組みました(障がい者雇用率2.08%)
			ICT利活用社会への貢献	ICT利活用社会への貢献に向けた各種ソリューションサービスなどのお客さま提案活動を積極的に推進しました
			保有文化財(歴史的建物など)の保護	歴史的価値の高い建物などの保存、有効利活用の推進に取り組みしました
ワーク・ライフ・バランスおよびダイバーシティ	ワーク・ライフ・バランスおよびダイバーシティ	育児・介護休職者 休職前後三者面談実施	出産休暇、育児休暇、介護休暇を取得中の社員に対する職場復帰プログラムを実施しました	
		在宅勤務の推進	在宅勤務を積極的に推進しました	

* 2016年3月末実績